

代表質問通告書（令和元年12月定例市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
1	四田 久美子 (市民クラブ)	1. SDGsの理念を活かした持続可能なまちづくりについて	SDGsは2015年に国連で採択。2030年までの「持続可能な開発」のための行動計画。健康的な生活や福祉を推進すること、住み続けられるまちづくりを目指すこと等、豊かな社会を実現するための目標を示している。 日本はSDGs目標達成のために、国や自治体、省庁間の枠を超え、企業・協同組合・NPOなど広く連携し推進していくとしている。 (1) (SDGsの考え方を取り入れた) 市政運営の基本的な考え方について。		
		2. 環境問題について	(1) 荒廃した竹林の保全と資源としての活用をどう進めますか。 (2) 農業用プラスチック等の廃棄の現状はどのようになっていますか。		
		3. 地域資源の活用について	(1) 「文化財保存活用地域計画」の策定の予定はありますか。 (2) 築100年を超える駅舎(上臼杵・熊崎・下ノ江)の保存や活用の計画はありますか。		
2	四田 郁 (鴻治会)	1. 一般廃棄物の処理について	(1) 臼杵市を含めた6市で整備計画を進めている新環境センターの進捗状況と、今後のスケジュールについて (2) 現在のゴミ処理の現状と新環境センター稼働後のゴミ処理の在り方について (3) 現在のゴミ処理施設と新施設とのコスト比較について (4) 現在使用している一般廃棄物最終処分場の現状と、埋立が終了している旧最終処分場の活用について 以上4点お尋ね致します。		
		2. 防災対策について	本年9月、10月に発生した台風15号、19号は日本各地に甚大な被害を生みました。 本市においても台風や東南海地震等の大規模災害に備えなければなりません。 (1) 市役所の防災対策について ① 2次避難場所の収容体制は充実しているのか。 ② 災害発生時の市職員の行動基準はあるのか。 (2) 消防本部と消防団について ① 消防本部と消防署の対応の中で、消防団とどのような協力体制を構築しているのか。 ② 臼杵市と消防団と防災士会は災害時の協定を結んでいるが、この3者と消防本部、消防署はどの様に協力し合うのか。 ③ 消防本部、消防署は消防団との合同訓練をどの程度又内容で行っているのか。 以上2点5項目についてお尋ね致します。		
3	梅田 徳男 (白政会)	1. 臼杵市の地域防災に対する基本的な考え方と今後の取組みについて	(1) 今年は、8月以降、台風15号、19号そして21号が我が国に上陸又は接近し、それらの暴風雨により各地で甚大な被害が発生している。 国土強靱化地域計画の推進も急務であるが、近年の広域化、激甚化する自然災害から市民を守るための差し迫った重要課題として、先の台風被害等による教訓を防災計画にしっかり反映させるとともに、市民一人ひとりが正しく危険を理解する仕組みづくりとそのための教育訓練の実施が必須であると考えます。 安全・安心の町臼杵として、地域防災に対する基本的な考え方と今後の取組みについてお伺いしたい。		
4	大塚 州章 (創政会)	1. 市長3期目のマニフェストの総括について	(1) 中野市長の3期目も残すところ1年となりました。市長マニフェストに対しての現時点での成果をお伺いしたい。 (2) 市民からの評価をどのように感じているのかをお伺いしたい。 (3) マニフェストとしての未到達部分や残された課題、これからの臼杵市の未来についてどの様な取り組みが重要かお伺いしたい。		